

# 川 根 本 町 図 書 室 だ よ り

2025年7月号

# 7月

- ・文化会館図書室(小長井)
  - ・山村開発センター図書室(上長尾)
  - ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内6コース
- TEL:0547-59-3106(文化会館)  
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

- ☆ 開室時間:午前9時~午後5時
- ☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(20日)・祝日の翌日(22日)
- ☆ 臨時休室:6/24~7/18(予定)  
※文化会館 図書室内壁の塗装工事のため
- ☆ やまびこ号巡回6コース



かわねフォン、町のホームページでご確認いただけます。  
なお、年間予定表は図書室で配布しています。

## 新着 図書



「川根本町インターネット図書室」では  
新刊の詳しい情報や 蔵書の検索が可能です。



川根本町  
インターネット  
図書室  
ホームページ



図書だより  
ブックナンバー

生成AIに何を  
してもらおうと便利?



文

岡嶋裕史 監修  
幻冬舎

大切なモノと  
思い出の片付け



文

渡部亜矢 著  
青春出版社

波平74歳。  
大きな決断!



山

長谷川裕雅 著  
リベラル社

近代日本は「茶」を武器に  
世界と渡り合っていた!



山

吉野亜湖 著  
井戸幸一 著  
淡交社

大ピンチずかん



文

鈴木のりたけ 作  
小学館

ゴトゴトゴットン



文

新井洋行 作  
講談社



山

小宮輝之 監修  
朝日新聞出版



山

まつおりかこ 作  
小学館

## ◎ 新着図書

「川根本町インターネット図書室」では新刊の詳しい情報や蔵書の検索が可能です。

文化会館図書室所蔵	山村開発センター図書室所蔵
<p>● 『カフネ』 阿部暁子 著 講談社</p> <p>法務局に勤める野宮薫子は、溺愛していた弟が急死して悲嘆に暮れていた。弟の元恋人・小野寺せつなに会い、彼女が勤める家事代行サービス会社「カフネ」の活動を手伝うことに…。2025年本屋大賞受賞作。</p>	<p>● 『珈琲怪談』 恩田陸 著 幻冬舎</p> <p>なんか、怖い話ない？ 男子会で、ホラーをダベる。なぜ多忙な四人の男たち(外科医、検事、作曲家、音楽プロデューサー)は、わざわざ遠出して喫茶店を何軒もハシゴしながら、怪談を披露し合うのかー。そして、いつも茫洋としているが、気づくとにか肝心なことをぼそっと呟く塚崎多聞とは誰なのか？</p>
<p>● 『それいけ!平安部』 宮島未奈 著 小学館</p> <p>県立菅原高校の入学式当日、安以加から「平安時代に興味ない?」と声をかけられた葉。「平安部を作りたい」という安以加の熱意に入部を決めるが、新部を創設するには5人の部員が必要だった。クラスメートから上級生まで声をかけ、部員集めに奔走するが—「平安部って、何やるの?」</p>	<p>● 『団地メン!』 藤野千夜 著</p> <p>16歳の花は高校になじめず、ずっと休んでいる。そんなある日、母方のおばあちゃんのゆり(70歳)から、むかし住んでいた「つつじが丘の団地に行ってみよう」と言われ……。そこからふたりは、つつじヶ丘、狛江、豊洲……といろいろな団地をのんびりめぐって、おいしい御飯やスイーツを楽しむことに。</p>
<p>● 『札幌誕生』 門井慶喜 著 河出書房新社</p> <p>幕末から大正にかけて、未知の土地・北海道にわたり、近代都市・札幌を作った、島義勇、内村鑑三、バチラー八重子、有島武郎、岡崎文吉。それぞれの熱き開拓の物語。</p>	<p>● 『ああうれしい』 畠中恵 著 文藝春秋</p> <p>子が生まれ、張り切る新米父の麻之助だが、相談事は待ってくれない。悪友に妻たちまで巻き込み、時に怠けながら、今日も果敢に揉め事を捌く!「まんまこと」シリーズ、ついに第10弾!</p>
<p>● 『モンゴル人の物語 1』 百田尚樹 著 新潮社</p> <p>世界史に突如姿を現したモンゴル民族による壮大な征服劇。百田尚樹が歴史家の目ではなく小説家の目で挑み、史料の間隙を埋めながら語りなおす。1は、チンギス・칸の誕生までを収録。</p>	<p>● 『人よ、花よ、上・下』</p> <p>今村翔吾 著 朝日新聞出版</p> <p>軍神と崇められる楠木正成を父に持つ正行は、戦なき世を求めて、北朝に降る決意を固める。それは、楠木家こそ挽回の鍵だと頼みにしている南朝を滅亡に向かわせることに他ならないのだが……。朝日新聞の大人気連載、待望の単行本化!</p>

## おすすめ図書

## 『とにかく早起き 自分を変える一番大事な習慣力』

高田晃 著 明日香出版社

### 早起きの本質的な恩恵とは

なんてわかりやすいタイトルなんでしょう! 自分を変えたければ、とにかく早起きをしろと。よく、早起きをすると誰にも邪魔されずに勉強や仕事がかどるとか集中できると言われますが、実はもっと本質的で根本的な恩恵がひとつだけあるらしいのです。それが、「生活の質が高まる」ということ。善循環のスパイラルが回り始めるようです。

何にでもすぐ影響を受ける私は、さっそく実践してみることに。まず今まで忙しくて読めなかった新聞にざっと目を通せるようになりました。他にも、考える時間が増えたので、やらなければならないこと(例えばシャンプー等の補充とか)をフツと思いついて、朝のうちにやっちゃったり。決断も早くなってきた感じがします。毎朝、家事に追われてバタバタと出勤するような有様でしたが、最近は少し時間に余裕ができるようになりました。まだまだ始めたばかりなので、これからどんな効果が出てくるのか楽しみです。

図書室スタッフH



文化会館図書室所蔵